

令和2年 甲州市議会 12月定例会

市政の概要

令和2年12月定例会の開会にあたり、議員各位には、提案いたしました議案のご審議をいただくことに対しまして、心から敬意と感謝を表すものであります。

提出案件の説明に先立ち、私の所信の一端と市政の概要を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げたいと存じます。

本市は、11月1日に市制施行15周年を迎えました。コロナ禍ではありますが、感染症対策を講じ規模を縮小した中で式典を開催し、市勢伸展に多大なご尽力を賜った方々に、表彰状並びに感謝状をお受けいただいたところであります。

さて、今月に入ってから新型コロナウイルス感染者数の急激な拡大の状況は第3波の到来と認識しております。1日あたりの国内感染者数も過去最多を更新しており、県内においても11月はすでに100名を超えている現状であります。

新たに国から出された、感染リスクが高まる5つの場面を避けることや3つの密のある場所などへの外出の自粛、更にはインフルエンザの流行時期と重なることから、生活様式を再度見直し、感染拡大に繋がらないよう市民の皆様には基本的な感染症対策の徹底をお願いするものであります。

それでは、市政の概要について、述べさせていただきます。
まず、学校再編についてであります。

これまで、市内小中学校におきましては、「たくましく心豊かな人づくり」を基本目標として、知・徳・体の調和がとれた児童生徒の育成に努めておりますが、人口減少社会の到来により児童生徒数も年々減少しており、新たな教育環境づくりが求められていると強く感じているところであります。

私は、本市の教育環境の現実をしっかりと把握する中で、小中学校の統廃合については、市における最重要課題であると位置づけ、慎重に検討を進めていく必要があると考えているところであります。

一方で、激変する社会構造の変化を勘案すると、その歩みを遅らせるわけにはいかないと思っております。

このような状況の中で、本年3月の令和元年度甲州市総合教育会議において、まずは中学校のあり方について、12月定例会に方向性を示してまいりたいと考え、教育委員会としての方針を示すようお願いをしていたところ、今年11日に開催された令和2年度甲州市総合教育会議において、「甲州市における今後の中学校のあり方に関する報告書」が示されたところであります。

報告の内容としましては、本年1月に開催された甲州市学校再編審議会の答申を踏まえ、生徒の教育環境の改善を主眼として、総合的な観点から分析・審議をした結果、中学校の再編は必要であるとの結論に至ったとのことであります。

具体的には、本市における中学校の適正規模と考える学級数は1学年2学級以上を基本方針として、市内6学区から塩山地

域と勝沼・大和地域の2学区に再編し、中学校を2校とすることを望むというものであります。

報告書をいただいてから、これまでの経過も踏まえる中で、熟慮に熟慮を重ねてきたところではありますが、私自身としては、教育委員会の報告のとおり中学校の再編を図ってまいることといたします。

次に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金についてであります。

今議会に、フルーツ山梨農協桃共選場感染症対策、市内3駅及び甲州市活性化施設等トイレ改修事業、市営勝沼ぶどうの丘及び勝沼図書館空調設備改修事業等を補正予算案に計上させていただいております。ウイズコロナ・アフターコロナ時代に対応した交付金の使途として活用してまいります。

次にふるさと納税についてであります。

ふるさと納税寄附につきましては、毎年本市を応援していただく全国の方から寄附金をいただいております。本市の貴重な財源となっております。本年も11月25日現在において、2万8,000件を超える方から5億3,500万円を上回る寄附金をいただいております。前年同期比120%の寄附金額となっております。

今後も魅力ある返礼品を用意するなど、ふるさと納税の趣旨に合った健全な形でふるさと納税寄附の充実を図っていきたいと考えております。

次に、防災についてであります。

高齢者や身体障害者など、要介護者の個々のニーズに合った避難所を確保するため、バリアフリー設備が施された「21の福祉施設」と福祉避難所の協定を締結したところであります。

また、災害時に発生する膨大な廃棄物や一般家庭ごみの収集・運搬を円滑に実施するため、山梨・甲州環境協同組合と「災害時における生活系廃棄物の収集・運搬等の支援に関する協定」も締結しております。

今後につきましても、関係機関と連携しながら防災体制の強化・充実に努めてまいります。

次に、交通安全対策についてであります。

11月13日には、市内における「交通死亡事故ゼロ、500日」を達成し日下部警察署長から感謝状の贈呈を受けたところであります。これまで交通安全推進に関わっていただいた関係各位や、市民の皆様の交通安全意識への心がけに感謝申し上げるとともに、今後もこの記録を続けていけるよう対策に取り組んでまいります。

次に、環境政策についてであります。

環境センターごみ処理場につきましては、長年に渡る地域住民の皆様の要望であり、検討を重ねた結果、令和3年度中に解体工事を完了させるため、今議会に補正予算案をお願いしております。

また、解体を踏まえ、家庭系粗大ごみの収集方法を市内各所における拠点回収とするための、関連条例の一部改正案を上程させていただいております。

次に、地域医療体制についてであります。

市民の皆様が安心して医療を受けられる環境を整備するため、公的医療機関が担う役割を維持し、今後の高齢社会を担う医療を支える体制を構築するために策定しました「甲州市地域医療体制基本計画」に則り、甲州市立勝沼病院の病院機能の見直しを図るため、関連条例の一部改正案を上程させていただいております。今後、さらに関係者との協議連携を進めていくことで、体制整備を図ってまいります。

次に、介護保険事業についてであります。

新型コロナウイルス感染症の流行により開催を控えておりました介護予防教室ですが、人数制限を設け今月から「いきいき健幸教室」を市内全ての会場で再開し、高齢者のフレイル予防に努めております。

次に、農林振興についてであります。

まず、本市農業における新型コロナウイルス感染症対策として、JA フルーツ山梨の2共選所に対しスポットクーラー設置事業を実施いたします。労働環境整備による共選所の安定稼働は、果実の買い上げと市場出荷停止の回避に資することとなり、ひ

いては農業者の皆様の支援につながるものと考えているところでございます。

また、昨年来県内で猛威を振るっているモモせん孔細菌病への対策につきましても、本年の状況を確認したところ、産地と農業者を守る支援策として継続支援が必要との判断に至り、支援事業費の補正予算案を上程させていただいております。

本年はころ柿の原料となる甲州百目柿の不作の声も多く届いておりますが、今後とも柿、桃、ブドウ、サクランボ等本市の特産果実には厳しい気象状況や社会状況が続く場合でも、しっかりとした農業者支援、産地力の維持向上が図れるよう、県やJA等の関係機関と連携を強化し、施策を推進してまいります。

次に、「トランスイート四季島」についてであります。

運行開始以来、塩山駅を停車駅として運行していただいておりますが、今シーズンの運行が明日11月28日をもって終了いたしますが、現行ルートが好評をいただいていることから、来シーズンの運行についても引き続き塩山駅を停車駅として、乗客の皆様に市内観光ルートなどを巡っていただく予定であります。

次に、「安全・安心なまちづくり」に向けた取り組みについてであります。

塩山駅南口広場整備につきましては、ロータリー西側工区が工事中であり、駅を利用する方々への安全に配慮する中で、完

成に向け事業を実施しております。

また、市内河川に架かる橋梁の多くは、耐震補強・修繕を進めており、本年度は鬢櫛川に架かる穴田橋の耐震補強・補修工事に着手したところであります。

計画的な補修を行うことにより、安全で安心な道路環境の確保と、橋梁の長寿命化、維持管理コストの縮減を図って参ります。

次に小中学校の新型コロナウイルス感染症対策についてであります。

市内小中学校では、2学期開始以降、感染症対策を施す中で、学校ごとに工夫しながら小学校運動会、中学校学園祭、修学旅行、校外学習を実施しております。

今後につきましては、インフルエンザ流行の時期とも重なることから、万全な感染症対策をとる中で、より良い学校環境の構築と教育活動の継続に努めてまいります。

次に、日本遺産についてであります。

日本遺産認定ストーリー「日本ワイン140年史」につきましては、牛久市と連携し、本年度は「特設ウェブサイト作成事業」や「日本ワイン関連商品開発ワークショップ」「観光ツアーガイド育成事業」などを実施し、日本ワイン発祥の地を広く宣伝してまいります。

次に、市営勝沼ぶどうの丘についてであります。

勝沼ぶどうの丘につきましては、県から「やまなしグリーン・ゾーン認証施設」の適用を受け、新型コロナウイルス感染症対策の徹底を図るとともに、今年3日の山梨ヌーボー解禁日には、安全な利用空間を確保した上で、ワインサーバーを活用し新酒の試飲を展開する新たなスタイルのもと、来館者に満足していただける工夫を行うなど職員一丸となって経営に取り組んでおります。

以上、私の所信の一端と主要な施策の概要を申し述べさせていただきました。今後も、甲州市の更なる発展のため、ご理解とご協力をお願いするものであります。